

決算討論

【一般会計】

一般会計決算に対し、5名の議員が討論をおこないました。



― 反対討論 ―

市民の会・無所属

岩田 京子 議員

コロナ対策として自治体独自の支援が期待された交付金3億9千万円。半分以上が施設整備・設備投資等「モノ」に充てられ、「人」への支援が1%だった。貸付事業がリマンショック時と比較し、20倍という状況の一方で、市は積立金を増やし財政を立て直した。冷たい姿勢の表れ

だ。

SDGsについては、庁内推進会議が1回のみ。具体的な取り組みが見えない。さらに、職員の25%がSDGsを理解できておらず、4割がSDGsの視点で仕事に取り組めていない。SDGs3年目のこの結果に落胆が隠せない。

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法 議員

コロナ禍、10億円を超える赤字です。財政調整基金は、1年間で7億円積み増して20億円にもなっています。厳しい生活を余儀なくされている市民生活を支える予算の使われ方だったのか問われます。高齢者や障がいを持つ方の外出支援策が要望に応えていません。道路舗装改修などの事業は、年間計画をつくり市民に明らかにすべきです。学

校体育館の室温測定記録を残さないなど、リスクマネジメントの視点が欠けています。演劇だけでなく、あらゆる文化芸術活動を支援すべきです。

― 賛成討論 ―

公明党吉川市議員団

大泉 日出男 議員

令和3年度は、日常生活と社会経済活動の両立が大きなテーマとなりました。コロナ禍において、学校環境の整備の充実、小学校トイレの洋式化、子育て支援関連の給付金、中学校区でのコミュニケーションスクールの導入、事業者に対し農業を含めた支援補助金、文化芸術基本条例の制定、防災意識啓発運動の推進など様々な点での予算の執行を評価し、賛成とします。

市民の会・無所属

伊藤 正勝 議員

この1年。ワクチン接種が一齐に始まり「Withコロナ」に向けて収入減や生活の

影響に対する各種の支援や助成等市の業務は大幅に増大。全市民対象の予防接種。医師看護師の確保や市民への連絡調整。当日対応や予後への目配り等全庁上げての取り組み。時代は転換期。デジタルは推進本部を設置。オンライン会議の日常化。学校はICT教育へ。SDGs「持続的発展へ」は第6次総合振興計画に織り込み次への備えも。美南駅東口開発等基盤作りも。技量を磨き輝く市役所にとエール。

未来会議よしかわ

稲葉 剛治 議員

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が続きました。国の緊急的な対策や予算措置など施策の内容については是非はあるかと思えます。しかし、こうした予算があるならば対象の方にしっかりとサービスを行き渡らせる事が大事です。吉川市においては、国や県、関係機関との連携を図りながら確実

かつ迅速に対応いただきました。引き続き、市民の方に向けた施策、情報が確実に行き渡るようお願い申し上げます。



【国民健康保険特別会計】

国民健康保険特別会計決算に対し、1名の議員が討論をおこないました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ 議員

一年半以上の滞納者等に発行される資格証明書が14世帯に発行された。資格証明書の発行は受診抑制・受療権・生存権の侵害に当たる可能性が非常に高く、発行するべきではない。県内63自治体中、発